

# 【プログラム11：夢をもとう！】

☆ねらい：夢をもつことは自分の生活を豊かにすることにつながり、夢の実現に向かって取り組む過程も大事であることを理解し、夢をもとうとする心情を高める。

## 《プログラムの概要》

キーワードの例	夢
時 間	30分
人 数	何人でもできる。
活動形態	グループ（1グループは4～6名がよい）
準備物	グループシート（グループ数）、付箋 参考：生徒に伝えたい夢・希望に関する格言シート（1部）
主な活動	①「生徒に伝えたい夢や希望に関する格言等」を聞く。 ②「夢とは何か」、「いろいろな夢を描いてみよう！」を通して考える。 ③夢の実現に向かって、今できること（準備）を考える。
気を付けること	○夢は人それぞれ違うものだから、人の夢を軽視するような発言等には注意を促す。そういう発言がないように、講座の前半で、その旨伝えておいてもよい。 ○「夢」がない、思いつかないという生徒には、「3年後には何をしていると思う？」や、「叶うといいなと思うことは？」等に言葉を置き換えて考えるように促したり、いくつかの具体例を示したりする等、個に応じた手立てを考える。
備 考	○どの学年においても活用できる。
学習指導要領 特別活動との関連	【高等学校 ホームルーム活動】内容（2）ア イ オ 【中学校 学級活動《現》】内容（2）ア イ 【中学校 学級活動《新》】内容（2）ア（3）ウ